

利活用イメージのゾーニング

当公園の基本目標と5つの基本方向、自然環境の保安全管理の方向、歴史資源活用の方向を受けて、場所ごとに目指す利活用イメージの特性を示し、6つのゾーンに区分しました。

歴史・文化の特性を強く打ち出したゾーンとして、メイン入口であり、ふれあいやすい自然と公園の基礎情報を提供する「自然へのいざないゾーン」、横須賀美術館や最もバリエーションに富んだ砲台遺跡がそろった「文化とふれあうゾーン」、幕末から明治、そして太平洋戦争終結までの近代の歴史や「海の守り」の歴史をたどる「近代史体感ゾーン」を設定しました。

また、多様な自然環境を活かしたゾーンとして、砂浜から磯場、海から森へと移り変わっていく多様な自然とふれあえ、公園の自然について最も中心的に学べる「里山体感ゾーン」、広大な草原と、古来から日本人の重要な文化として親しまれてきた桜や草花等にふれあえる「草原あそびゾーン」、原生自然ではなく人の手の入った二次的自然であり、人と良好な関係を築いてきた里山とふれあえる「里山体感ゾーン」を設定しました。

■ 里山体感ゾーン

人と良好な関係を築いてきた里山とふれあえるゾーン

- ・ 里山再生（自然ふれあい協働体験）
- ・ 自然遊び、自然体験学習機能の強化
- ・ 安全・安心に利用できる空間の確保

■ 文化とふれあうゾーン

横須賀美術館との連携や、バリエーションに富んだ砲台遺跡にふれあうゾーン

- ・ 歴史や文化を体感できる場づくり
- ・ 海の展望をゆっくり楽しめる場づくり
- ・ 三軒家砲台、花の広場へのアクセス改善
- ・ 美術館との連携、季節感あふれる植栽

■ 自然へのいざないゾーン

公園のメイン入口として、ふれあいやすい自然と公園の基礎情報を提供するゾーン

- ・ インフォメーション機能の強化
- ・ 管理機能の強化
- ・ 休憩機能の強化
- ・ 海の自然遊び機能の強化
- ・ 地域参加でにぎわいの創出（イベント、朝市、体験学習等）

■ 草原あそびゾーン

広大な草原と、桜や草花等にふれあえるゾーン

- ・ 草原でのびのび遊べる場づくり
- ・ 広がりのある地形を活かした原っぱ（花の風景）づくり
- ・ 草花や昆虫を育むためのコミュニティの場づくり
- ・ 休憩機能の強化

■ 里山体感ゾーン

砂浜から磯場、海から森へと移り変わっていく多様な自然とふれあえ、公園の自然について学べるゾーン

- ・ 里海・里山文化の再生と、自然体験学習の拠点づくり
- ・ 人工的施設を自然の谷戸に再生
- ・ エコトーン（海から山）の生物多様性の保全、強化
- ・ デザインの統一がとれた施設整備と植栽

■ 近代史体感ゾーン

幕末から明治、そして太平洋戦争終結までの近代の歴史や「海の守り」の歴史をたどるゾーン

- ・ 歴史的資源の紹介
- ・ アクセスの改善
- ・ 海の眺望確保と休憩機能の強化

